

演題動画作成マニュアル

■ Windows

PowerPoint 2010/20132

PowerPoint2019/Microsoft 365 (Office365)9

■ Mac

PowerPoint Mac17

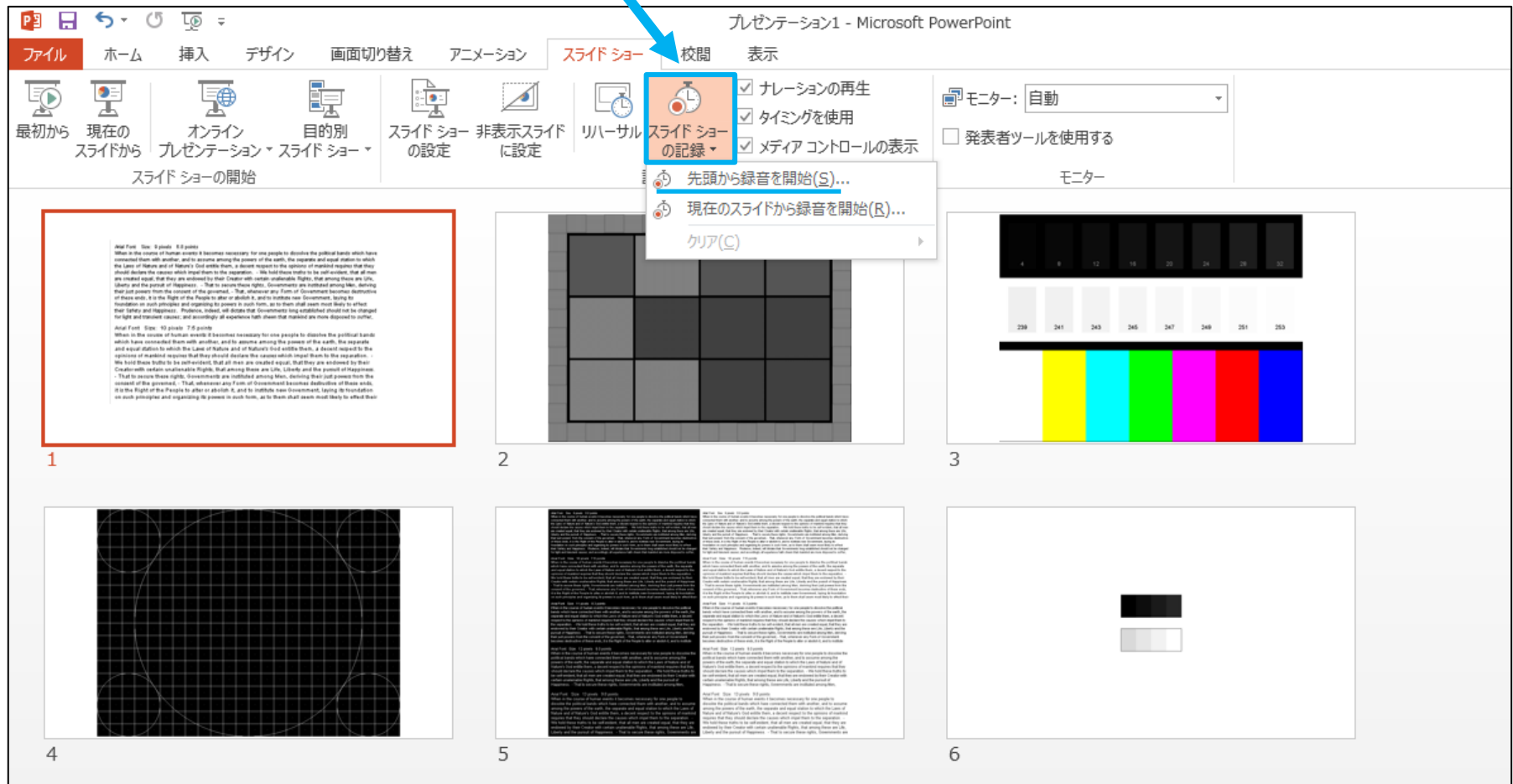
Keynote24

演題動画作成マニュアル

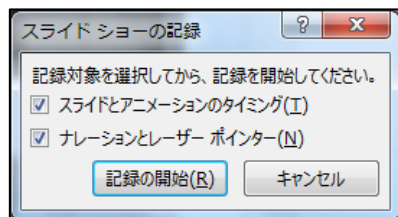
PowerPoint 2010
PowerPoint 2013

動画作成手順

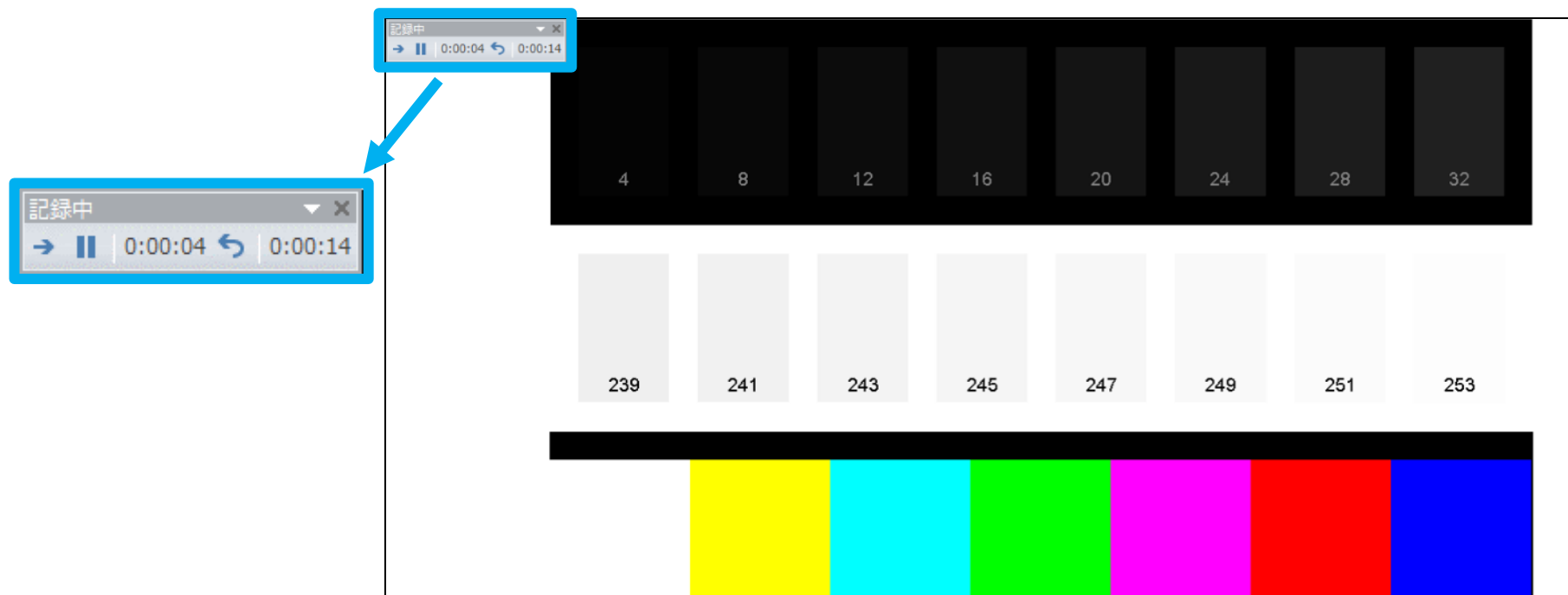
1. 画面上部の【スライドショー】をクリック
2. 【スライドショーの記録】→【先頭から録音を開始】をクリックし記録画面に進んでください。



3. 【スライドショーとアニメーションのタイミング】、【ナレーションとレーザーポインター】にチェックが入っていることを確認し、【記録の開始】に進んでください。



4. 録音中は、スライド左上に【記録中】と表示されます。記録中となっていることを確認してください。



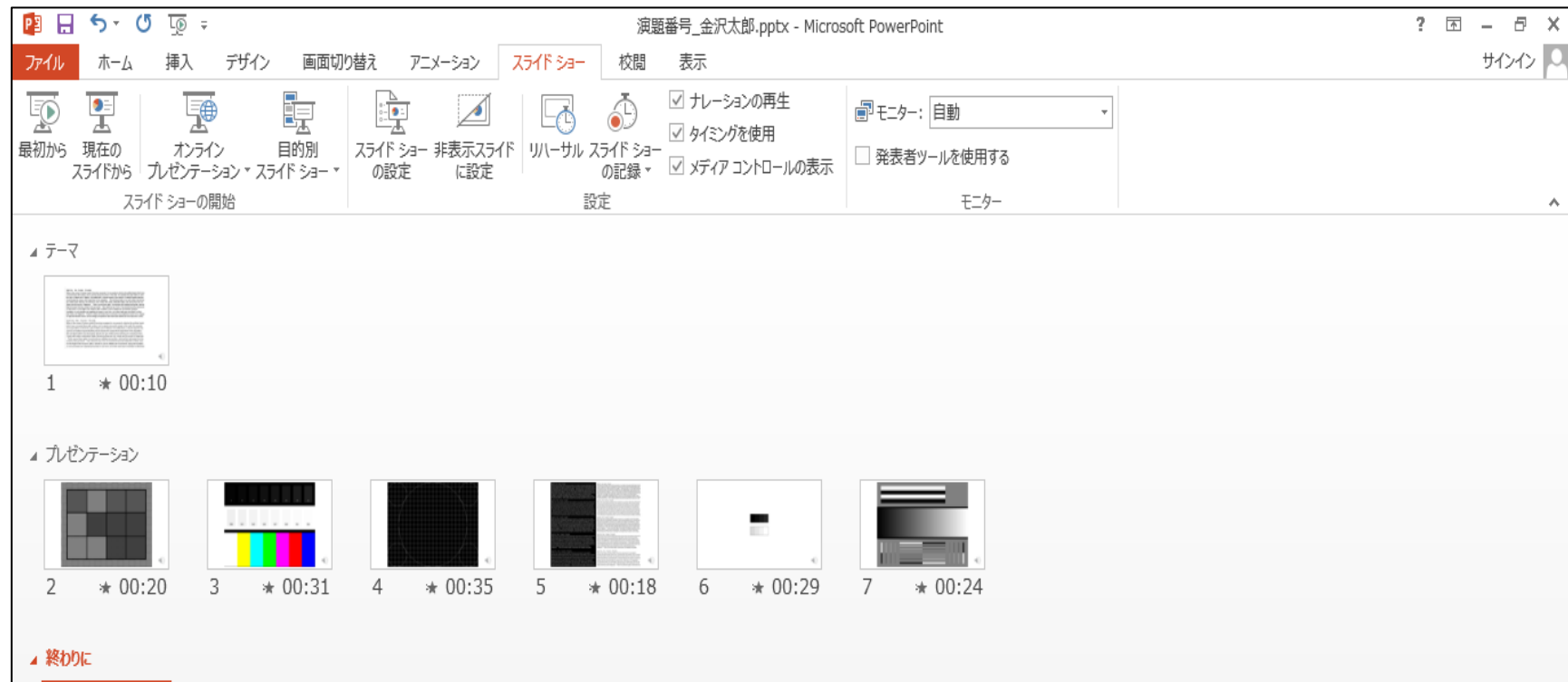
<ご注意>

マウスカースルは記録されません。【Ctrl+L】を押して【レーザーポインターモード】をご使用ください。
レーザーポインターではスライド送り、動画のクリックはできません。

5. PowerPointを保存してください。

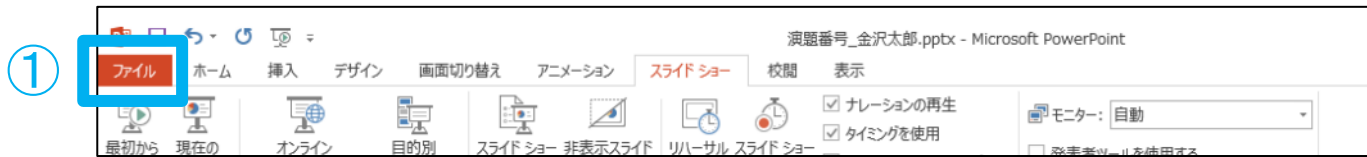
ファイル名は【**演題番号_演者名**】としてください。

保存したファイル(音声付きスライド)は、スライドショーにて、音声やスライドのタイミングに問題が無いか確認してください。

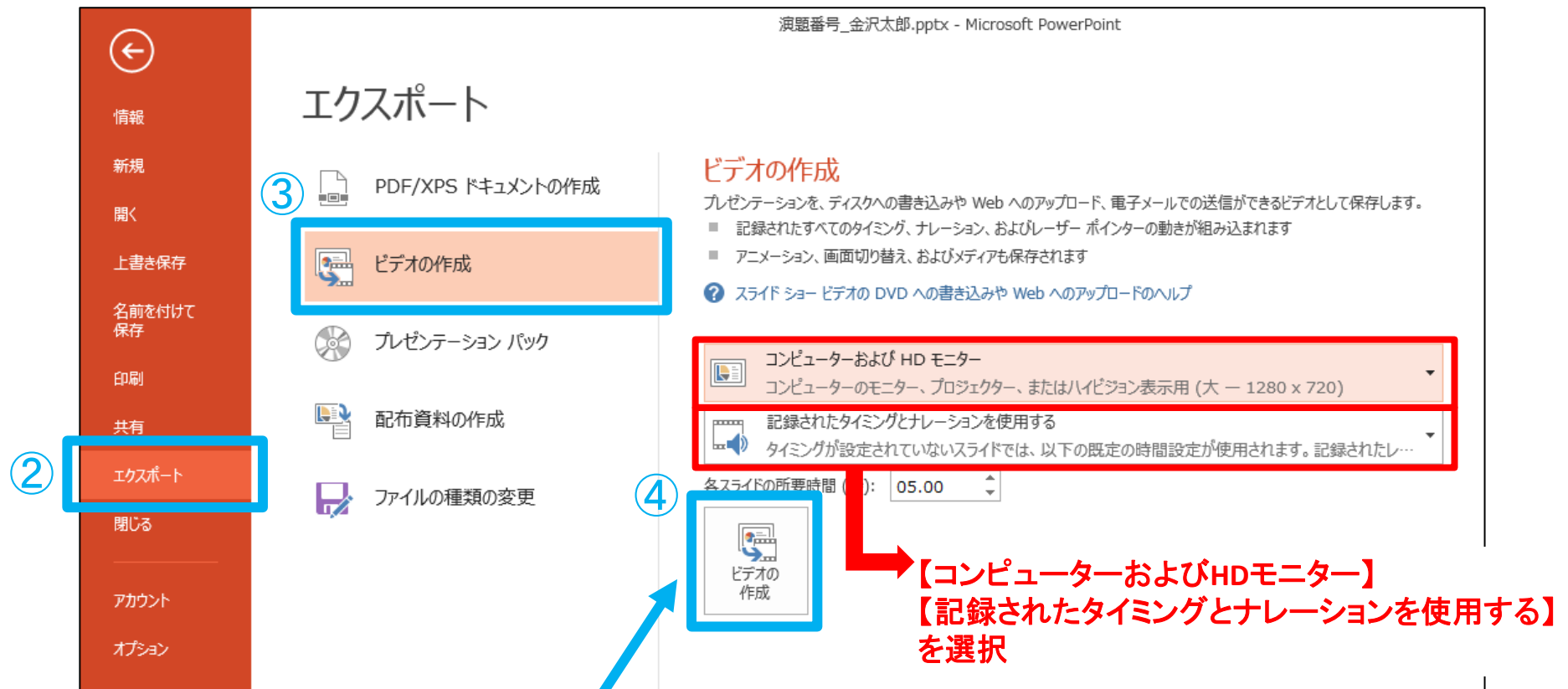


6-1. <PowerPoint 2013> 動画への変換作業

上部タブの①【ファイル】から



②【エクスポート】→③【ビデオの作成】に進みます。



確認後、④【ビデオの作成】をクリックしてください。

6-2. <PowerPoint 2010> 動画への変換作業

上部タブの①【ファイル】→②【保存と送信】→③【ビデオを作成】に進みます。

① ファイル

② 保存と送信

③ ビデオの作成

④ ビデオの作成

ビデオの作成

このプレゼンテーションから完全な再現性が維持されたビデオを作成し、CD や Web、または電子メールを使用して配布することができます。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- スライド ショーで非表示に設定されていないすべてのスライドが含まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

ビデオの作成にかかる時間は、プレゼンテーションの長さや複雑さによって異なります。ビデオの作成中も、PowerPoint で作業を続けることができます。

？ スライド ショー ビデオの DVD への書き込みおよび Web へアップロードのためのヘルプ

コンピュータおよび HD モニター
コンピュータのモニター、プロジェクター、またはハイビジョン表示用 (大 - 1280 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する
タイミングが設定されていないスライドでは、以下の既定の時間設定が使用されます。記録されたレーザー ポ...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

【コンピュータおよびHDモニター】
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】
を選択

確認後、④【ビデオの作成】をクリックしてください。

7. ファイルを任意の場所に保存します。ファイル名は、「**演題番号_演者名**」としてください。

<PowerPoint 2013>



ファイルの種類をMPEG-4ビデオにして保存してください。

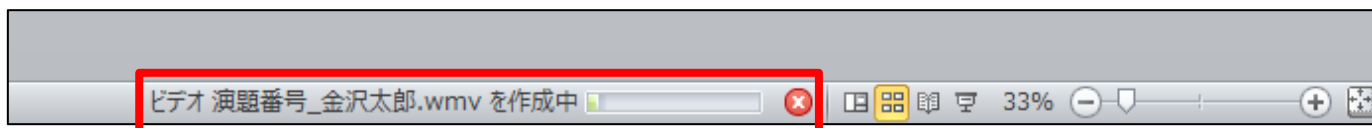
拡張子が【.mp4】になっていることをご確認ください。

<PowerPoint 2010>



ファイルの種類をWindows Mediaビデオにして保存してください。拡張子が【.wmv】になっていることをご確認ください。

8. 【保存】をクリックするとPowerPointのウィンドウ下部に作成中のバーが現れますので終了するまでお待ちください。



完成した動画は音声や動画、スライドのタイミングに問題がないか必ずご確認ください。

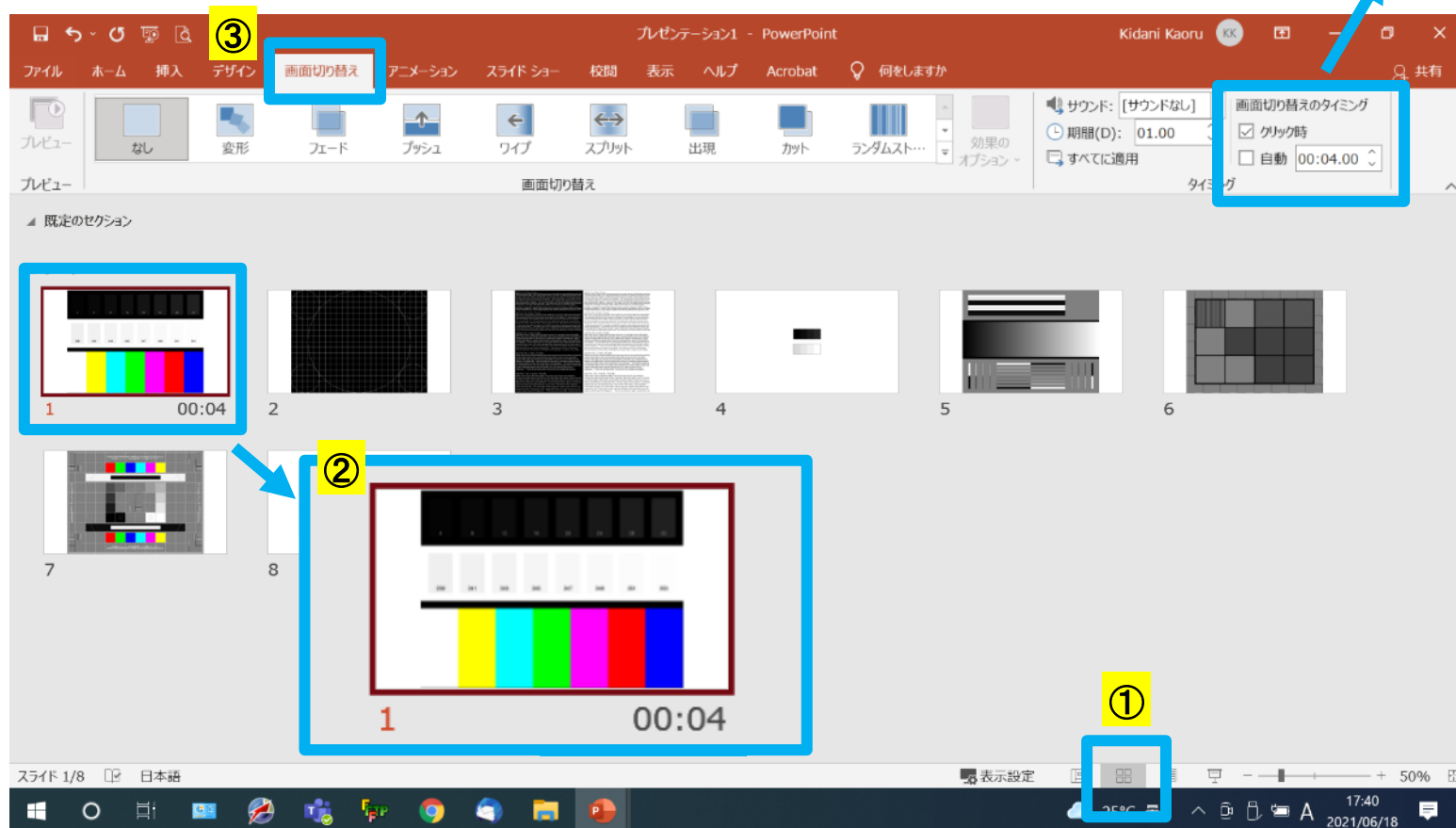
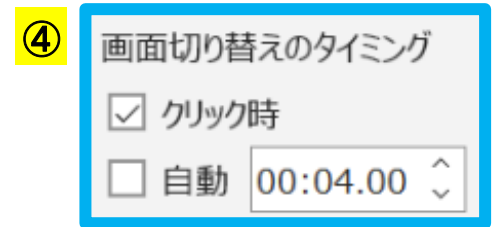
完成ファイルは学術集会専用データアップロードサービスにてご提出ください。

演題動画作成マニュアル

PowerPoint2019
Microsoft 365 (Office365)

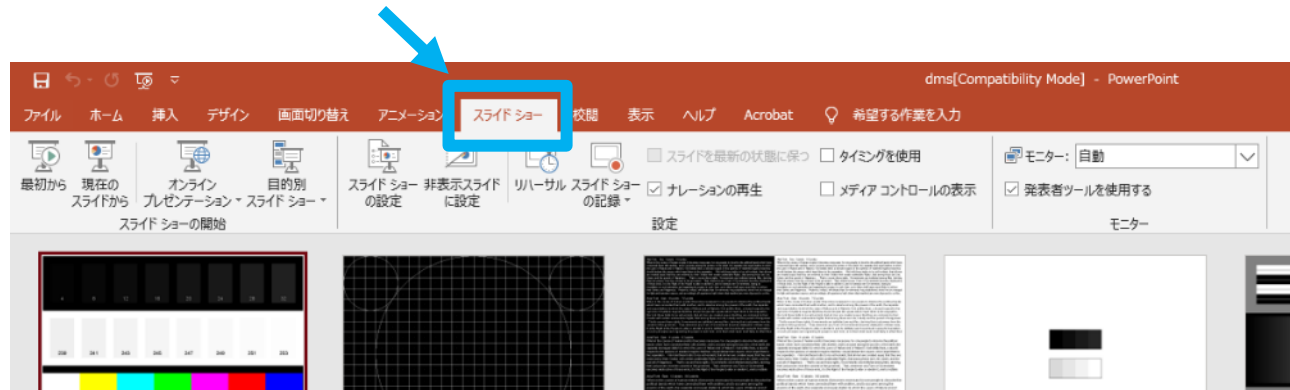
準備

- ①PowerPointをスライド一覧表示に切り替えます。
- ②スライドの下に秒数が入っていないか確認してください。
＜秒数が入っている場合＞
- ③画面上部の【画面切り替え】をクリックしてください。
- ④【画面切り替えのタイミング】→【自動】、【自動的に切り替え】のチェックを外してください

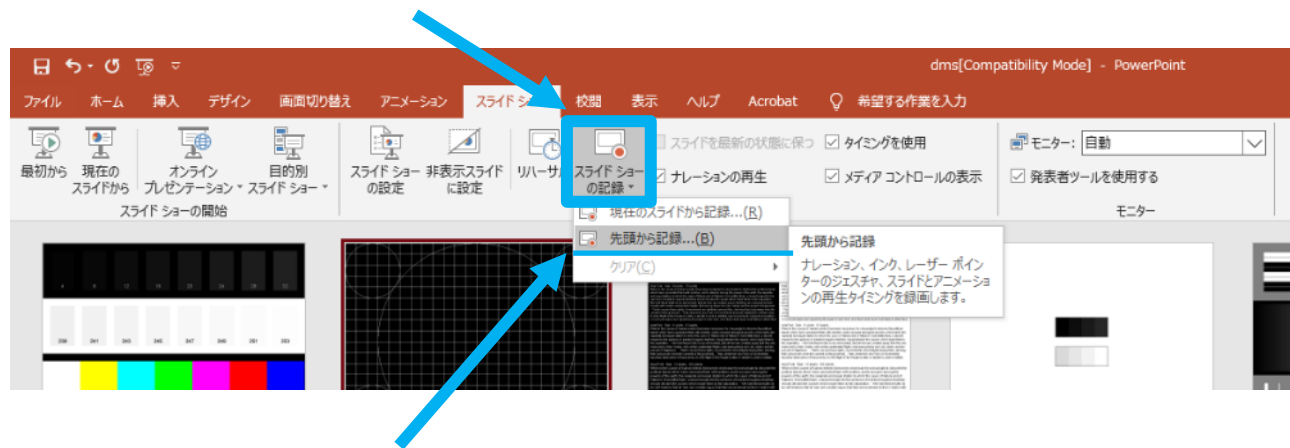


動画作成手順

1. 画面上部の【スライドショー】をクリックしてください。



2. 【スライドショーの記録】をクリックしてください。



3. 【先頭から記録】をクリックし記録画面に進んでください。

4. 記録画面に移り、録画スタンバイ状態になります。
準備が整いましたら、記録ボタン(①)を押し、録画・録音を開始してください。



- ①記録ボタン...録画を開始、一時停止
- ②記録停止ボタン...録画を停止
- ③再生ボタン...録画した映像音声の確認
- ④設定...マイクやカメラの設定
- ⑤戻る...前のスライドへ戻る
- ⑥進む...次のスライドへ進む
- ⑦ペンツール
- ⑧マイク・カメラのON/OFF

レーザーポインター

マウスイカーソル状態では録画に反映されませんので、必要に応じて切り替えてください。

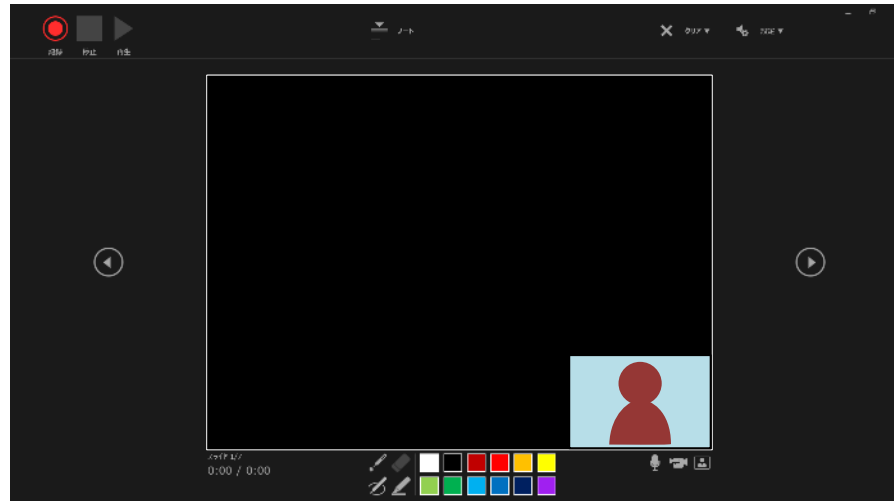
音声 必ずONになっていることを確認してください。

カメラ ONにするとお姿を含んだ状態で録画されます。

※注意点※

スライドの切り替わり時は、音声は録音されません。
言葉が途切れないようご注意ください。

5. 最後まで進めると自動的に録画が停止になります。
再生ボタンで録画内容を確認することができます。



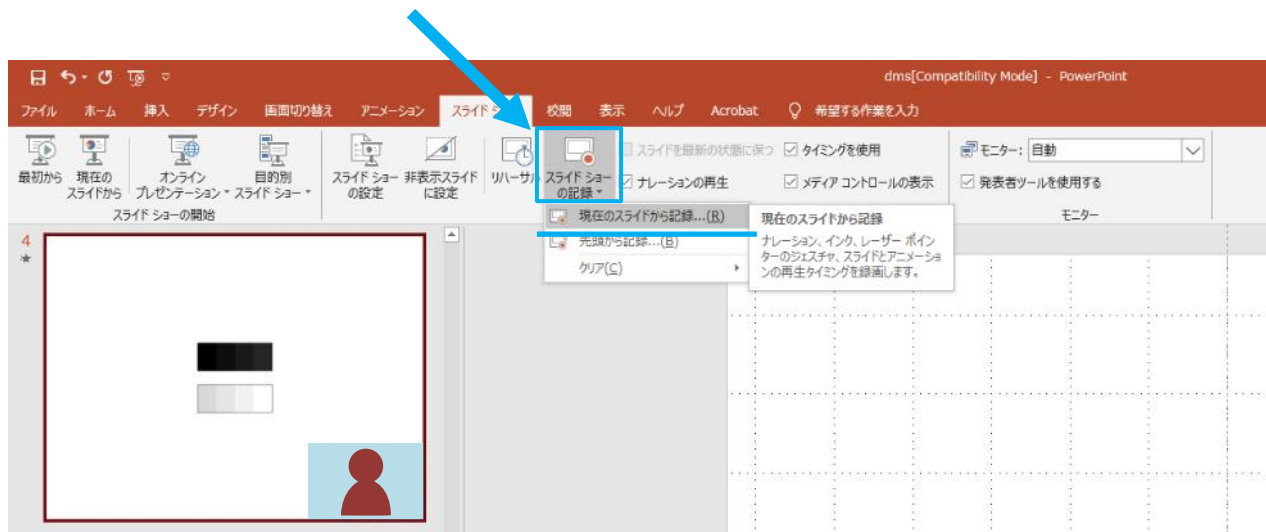
6. スライドをもう一枚進めるか、記録画面を閉じると
スライド一覧画面に戻ります。



7. PowerPointを保存してください。
再度ファイルを開き、スライドショーで、
音声や動画、スライドのタイミングに問題が無いか確認してください。

- 修正を行いたい場合 -

修正を行いたい場合、該当のスライドを選択し、「スライドショーの記録」から再度記録を行います。その際、【現在のスライドから記録】を選んでください。



※記録が終了したら、停止ボタンを押してください。

再録音したデータが上書き保存され、以前の音声は削除されます。

上部タブの①【ファイル】から

①



15

9. ファイルを任意の場所に保存します。ファイル名は、「**演題番号_演者名**」としてください。



必ず**MPEG-4(mp4)**形式で保存をお願いします。

完成した動画は音声や動画、スライドのタイミングに問題がないか
必ずご確認ください。

完成ファイルは学術集会専用データアップロードサービスにてご提出ください。

演題動画作成マニュアル

PowerPoint Mac

《注記》

・動画変換・保存可能なバージョン: PowerPoint2011、2019 for Mac、Office365

※PowerPoint 2016 for Mac は、動画変換・保存ができません。

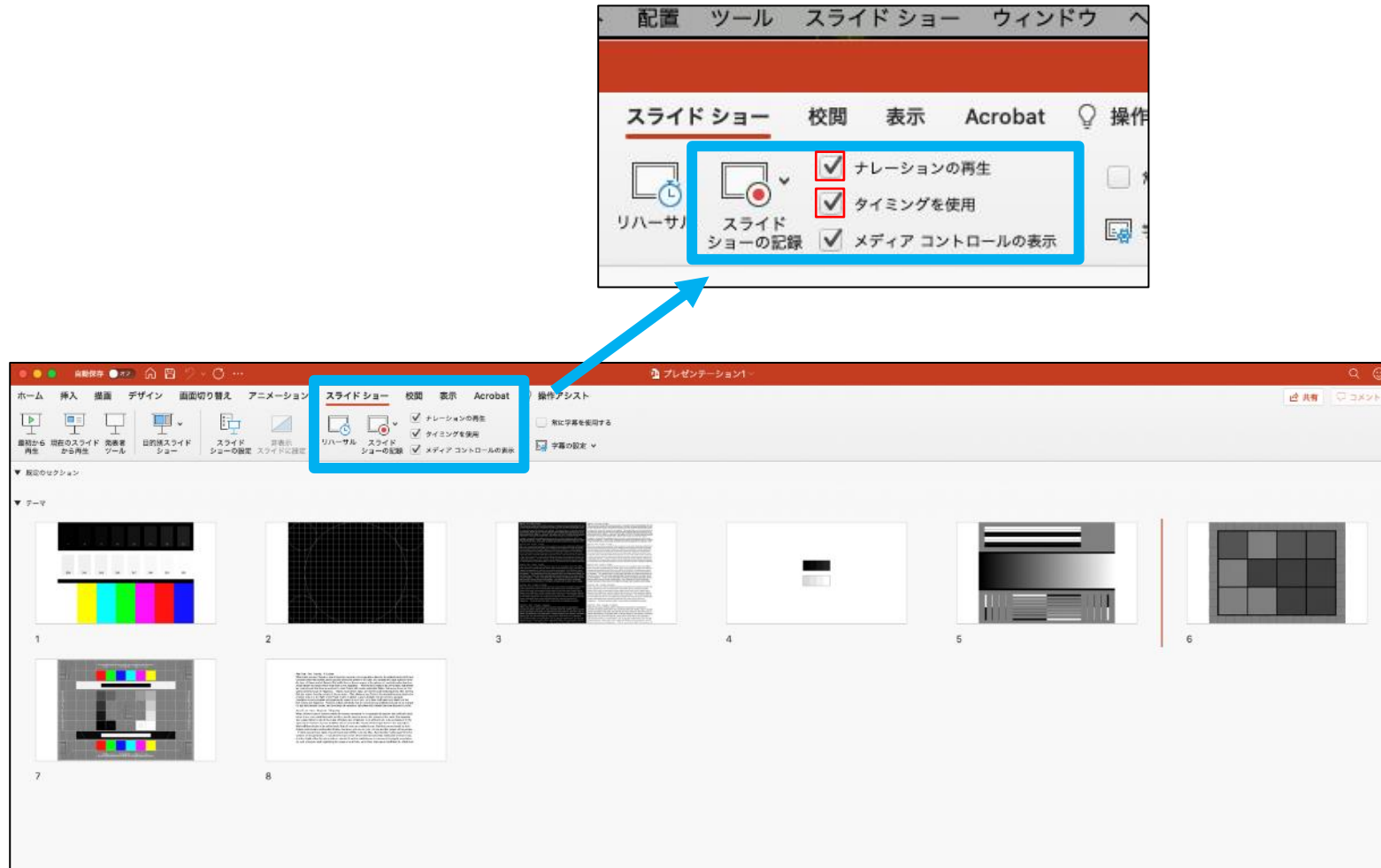
2016 for Macをご利用の場合は、Keynoteで開いて動画変換いただくか、
上記の動画変換・保存可能なバージョンにて変換作業ください。

・マウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

準備

画面上部の【スライドショー】をクリックしてください。

【ナレーションの再生】【タイミングの使用】にチェックが入っていることを確認してください。



動画作成手順 (PowerPoint Mac版)

《ご注意》

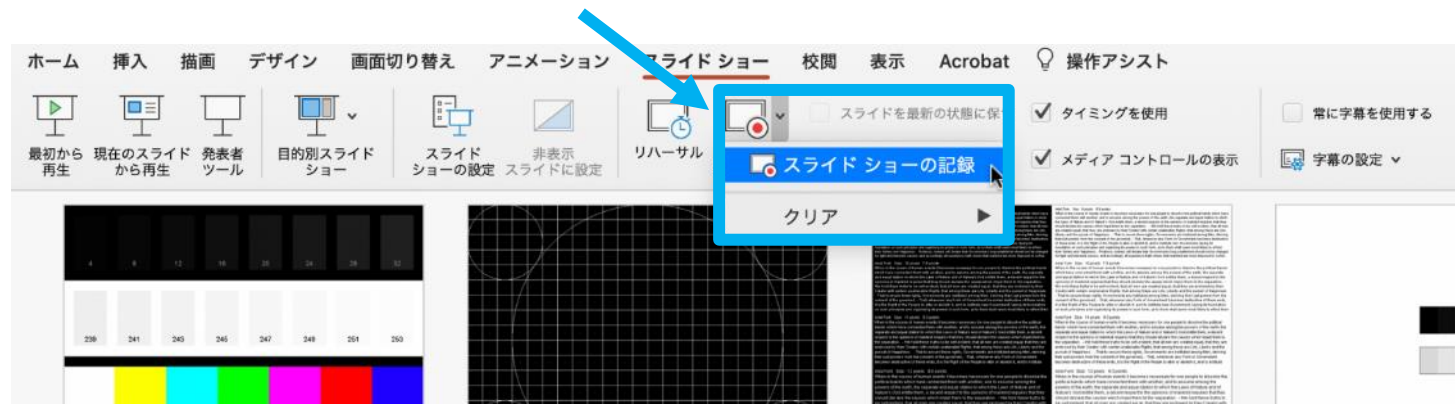
PowerPoint 2016 for Mac は、動画変換・保存ができません。

1. 画面上部の【スライドショー】をクリックしてください。

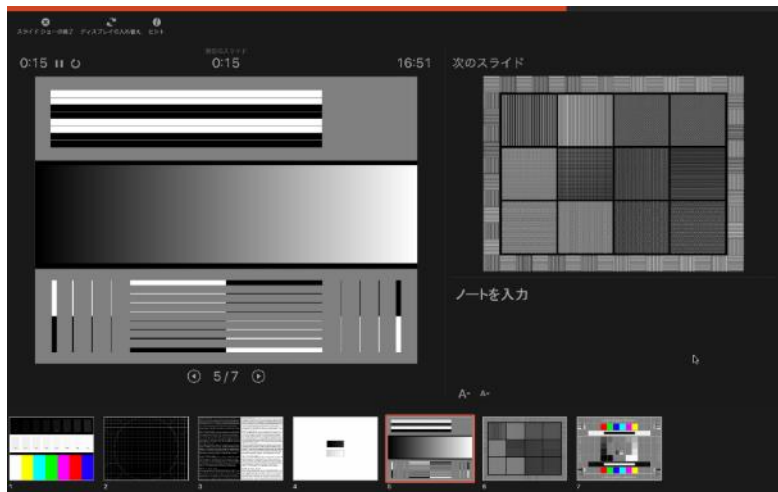


2. 【スライドショーの記録】をクリックしてください。

※選択されたスライドから記録が始まります。1枚目を選択した状態で記録の開始を行ってください。



3. 【スライドショーの記録】を押すとすぐに記録が開始されます。



＜注意点＞

※スライドの切り替わり時は、音声は録音されません。
言葉が途切れないようご注意ください。

※マウスカーソル、レーザーポイントモードはご使用できません。

4. 【スライドショーを終了】をクリック、もしくは最終ページまで送り終わると、【変更内容の保存(タイミングの保存)】のポップアップが表示されますので、保存をしてください。



5. PowerPointを保存してください。
再度ファイルを開き、スライドショーで
音声や動画、スライドのタイミングに問題が無いか確認してください。

- 修正を行いたい場合 -

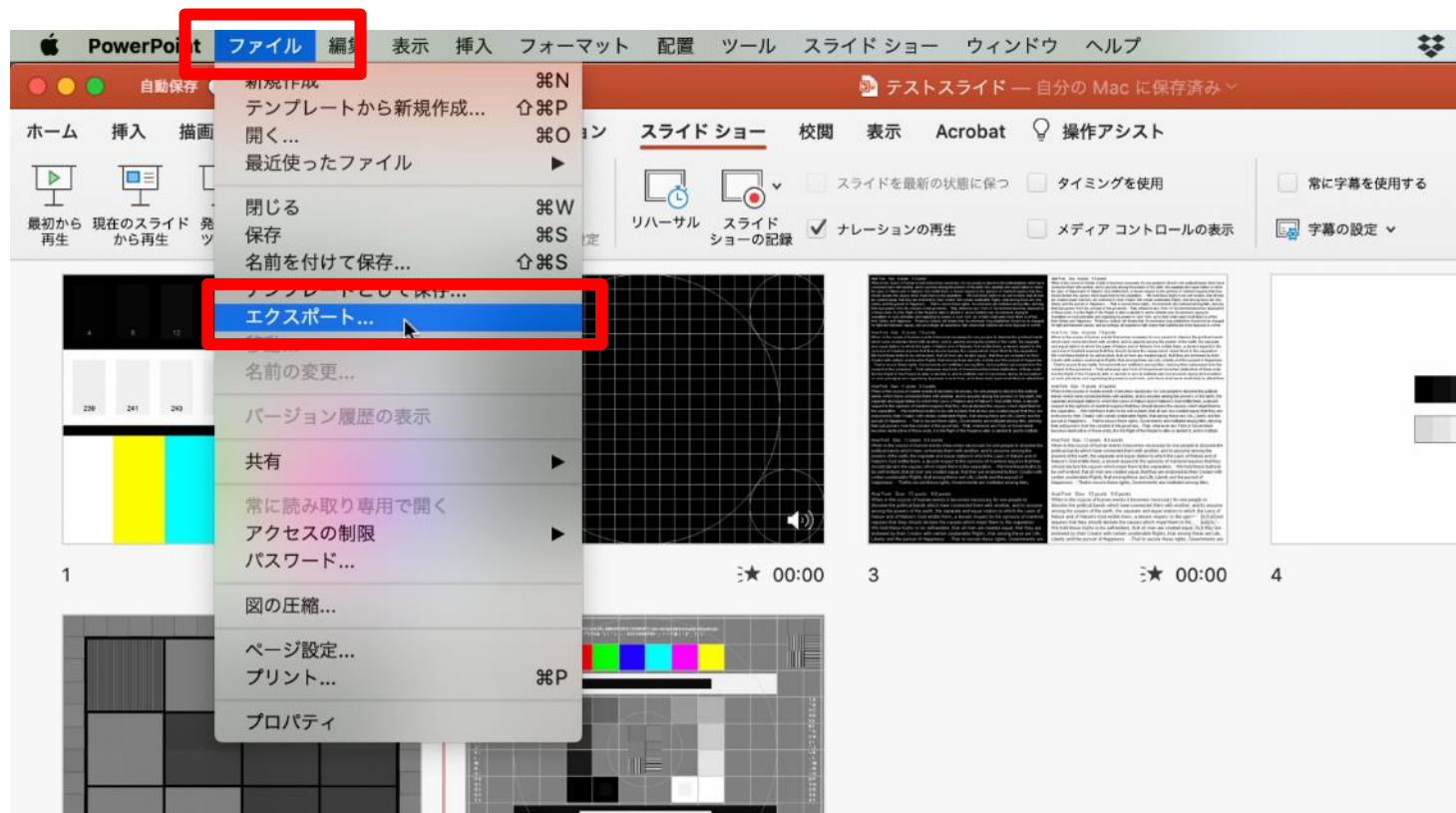
修正を行いたい場合、該当のスライドを選択し、再度【スライドショーの記録】を行います。



音声の再録音が済んだら、「スライドショーの終了」を選択し保存します。
再録音したデータが上書き保存され、以前の音声は削除されます。

6. 動画への変換作業

画面上部タブの【ファイル】から【エクスポート】を選択します。



7. ファイルを任意の場所に保存します。ファイル名は、「**演題番号_演者名**」としてください。



The screenshot shows a file export dialog box. At the top, the 'Export format' (エクスポートの形式) is set to '0000_test'. Below this, a file browser shows the 'Macintosh HD' with a list of folders: 'ライブラリ', 'ユーザ', 'システム', and 'アプリケーション'. The 'File format' (ファイル形式) is set to 'MP4'. A callout box points to the 'MP4' dropdown with the text '必ずMPEG-4(mp4)形式で保存します。'. Below the file format, the 'Quality' (品質) is set to 'インターネット品質'. A callout box points to this dropdown with the text '品質は「インターネット品質」もしくは「HD(720p)」に変更'. At the bottom right, the 'Export' (エクスポート) button is highlighted with a red box. A callout box points to this button with the text 'エクスポートをクリックして動画を保存します'.

エクスポートをクリックして動画を保存します

完成した動画は音声や動画、スライドのタイミングに問題がないか必ずご確認ください。

完成ファイルは学術集会専用データアップロードサービスにてご提出ください。

演題動画作成マニュアル

Keynote

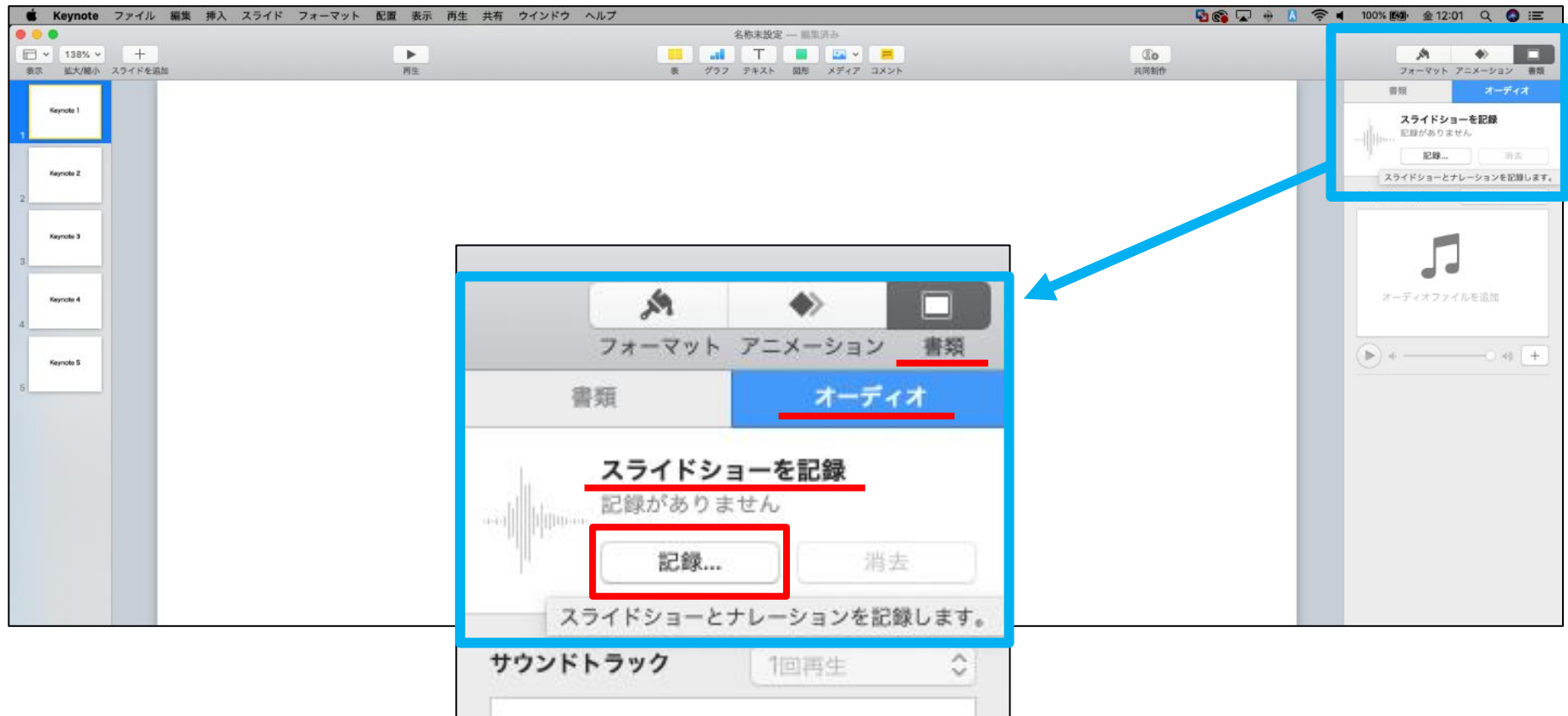
《注記》


・Keynoteではマウスカーソル・レーザーポインターモードはご使用できません。

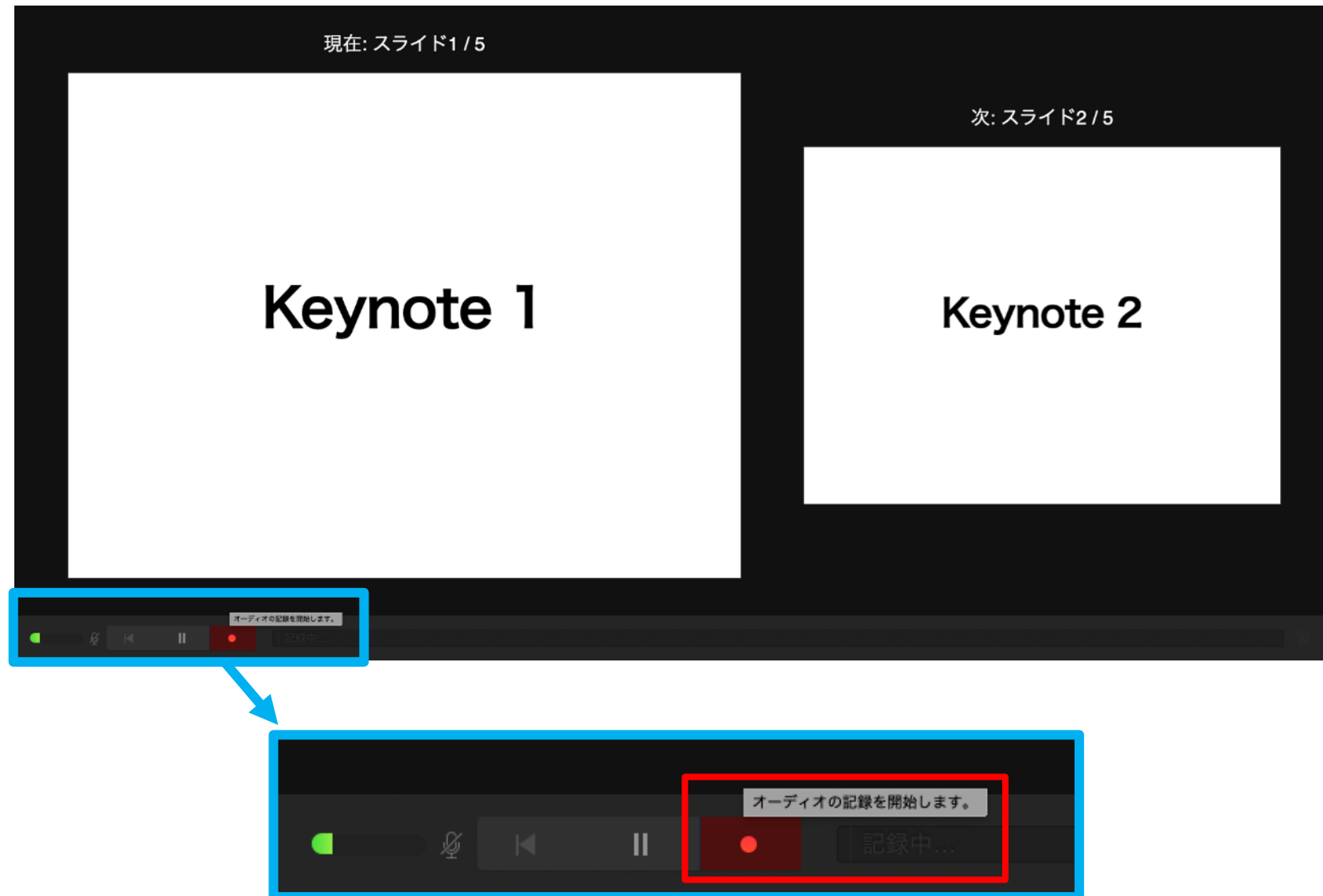
動画作成手順


1. 画面右上部の【書類】ボタンをクリックしてください。

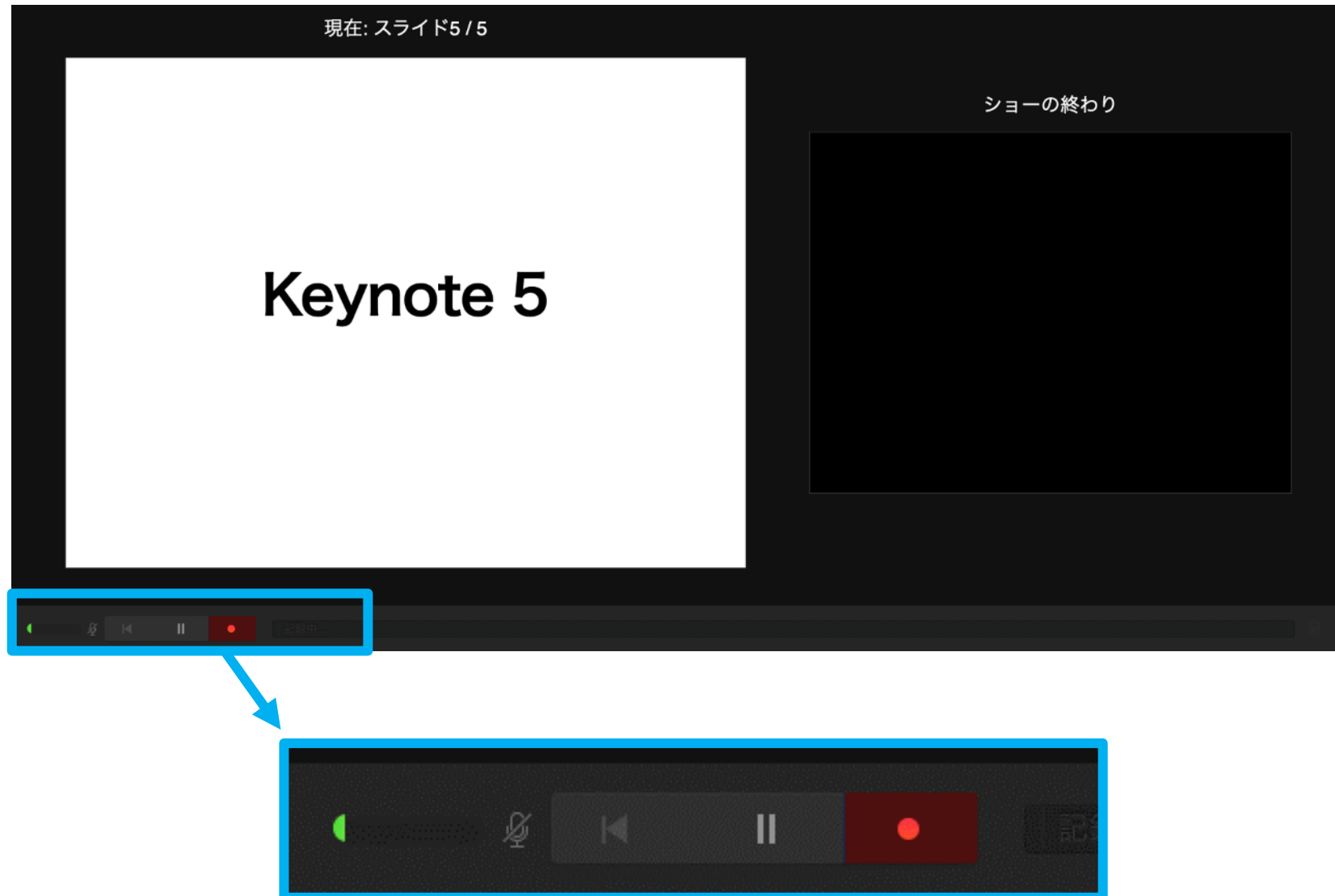
【オーディオ】を選択し、スライドショーを記録の【記録】ボタンをクリックすると録音画面に切り替わります。



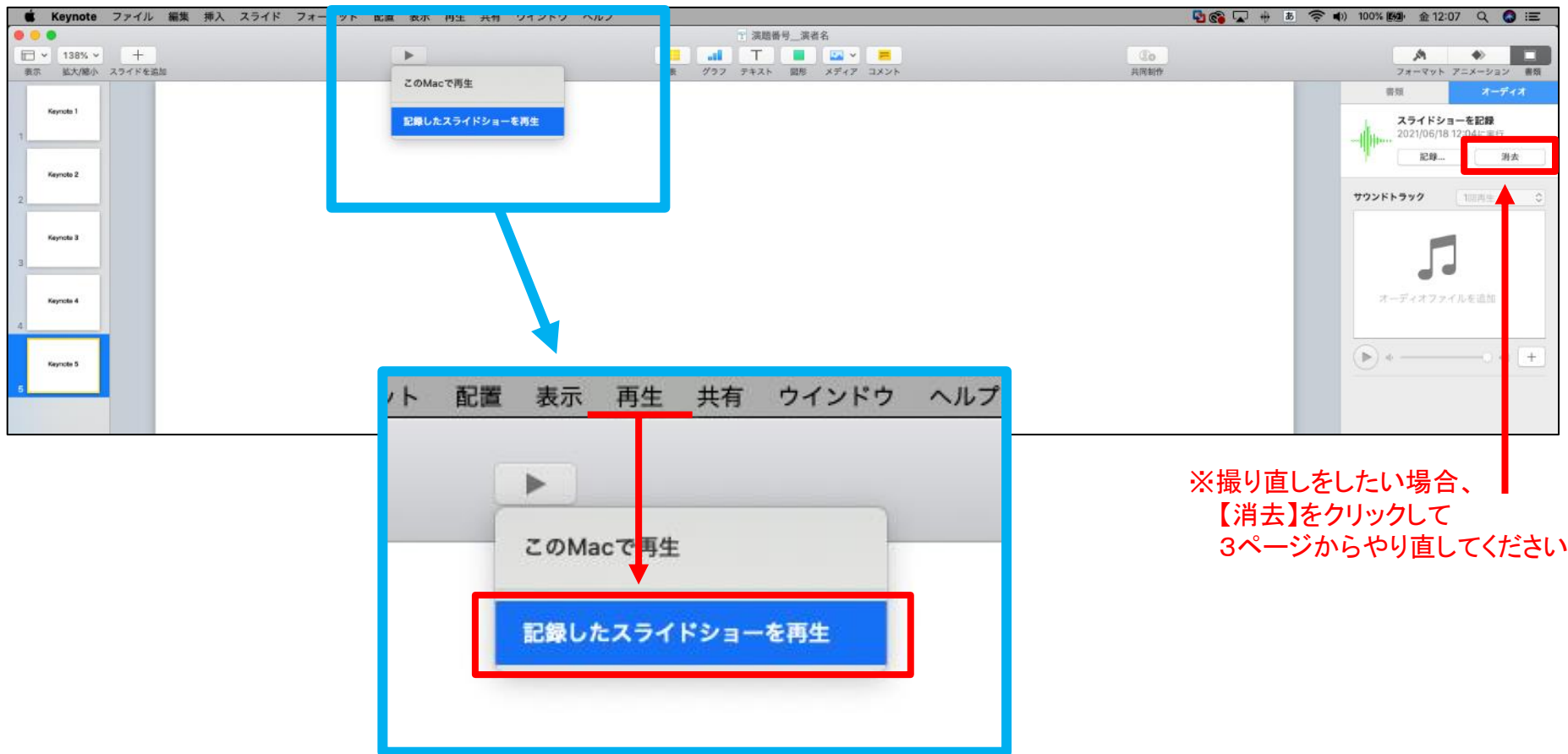
2. 画面下部の  (Rec) ボタンをクリックして録音を開始してください。



3. もう一度  (Rec) ボタンをクリックすると録音が停止されます。



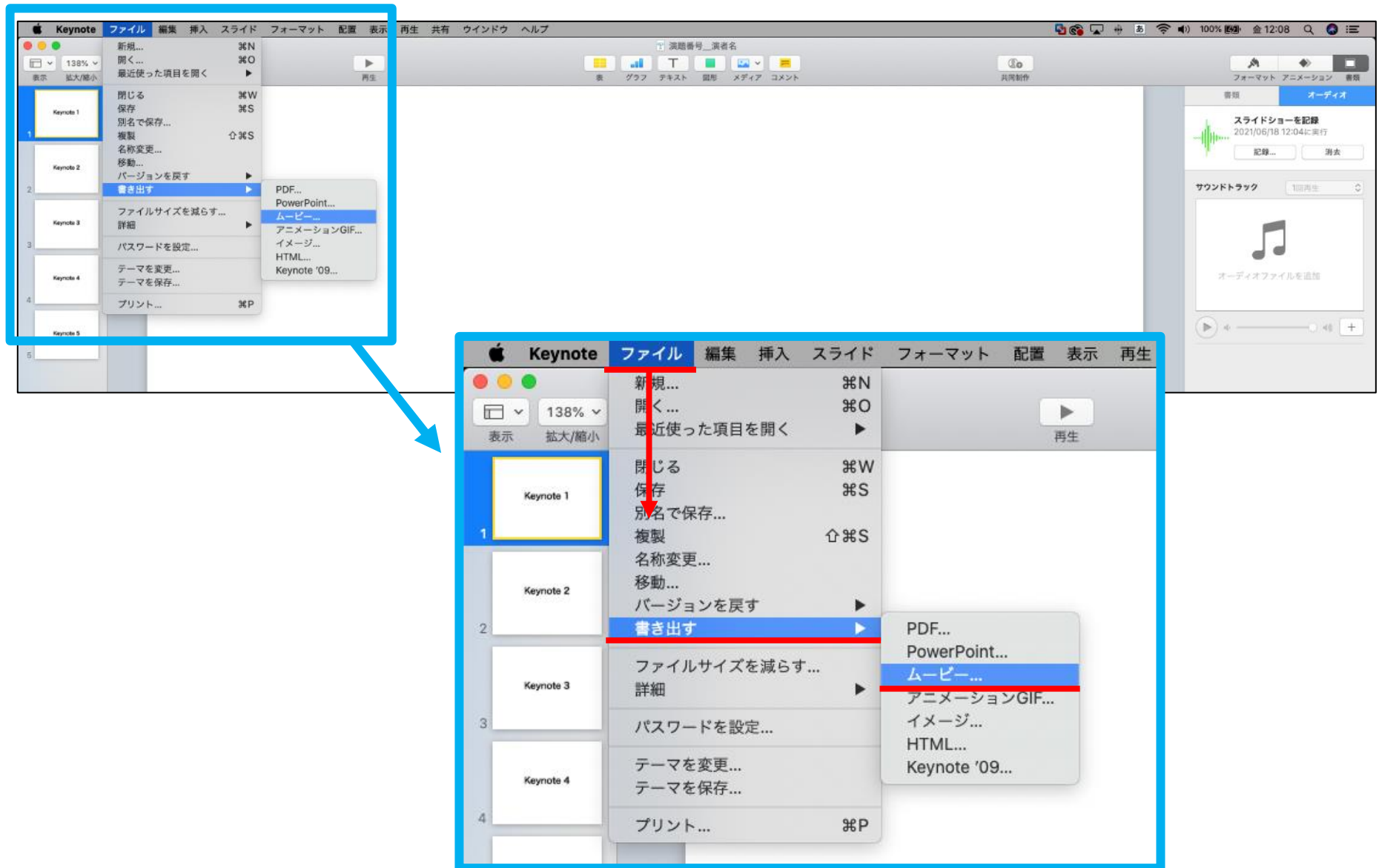
4. 記録が終了したらKeynoteを保存してください。
ファイル名は【演題番号_演者名】としてください。



※撮り直しをしたい場合、
【消去】をクリックして
3ページからやり直してください

保存したKeynote(音声付き)を開き、メニューの【再生】→【記録したスライドショーを再生】をクリックし、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

5. ファイルメニューの【ファイル】→【書き出す】→【ムービー】を選択してください。

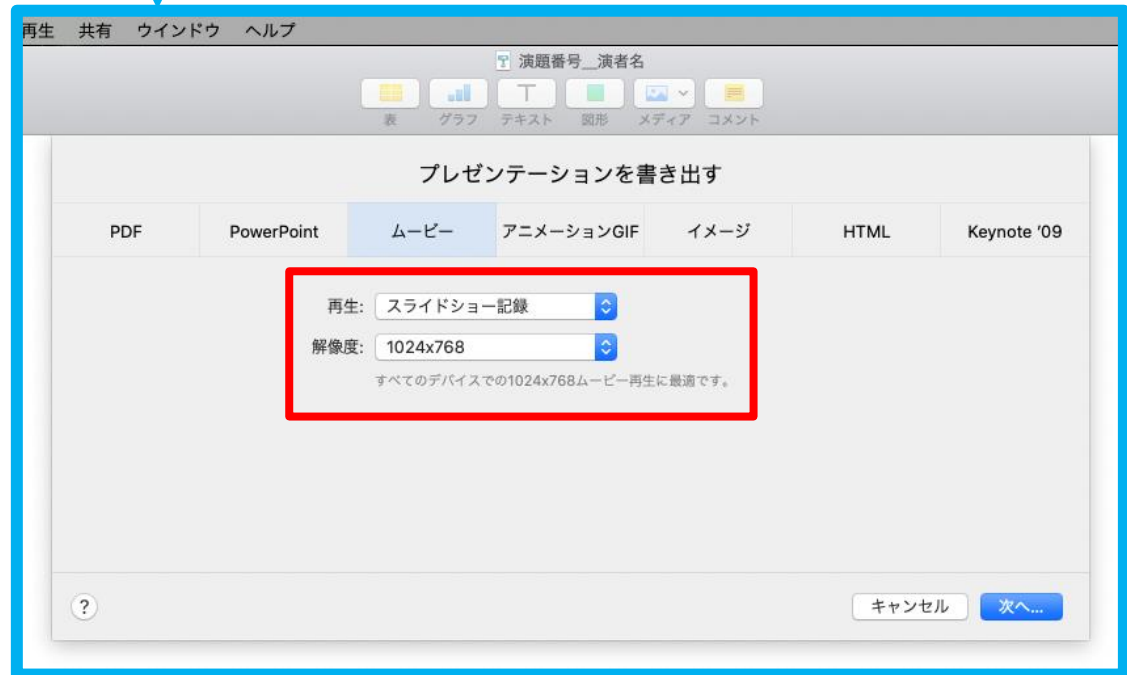


6. 再生:【スライドショーの記録】

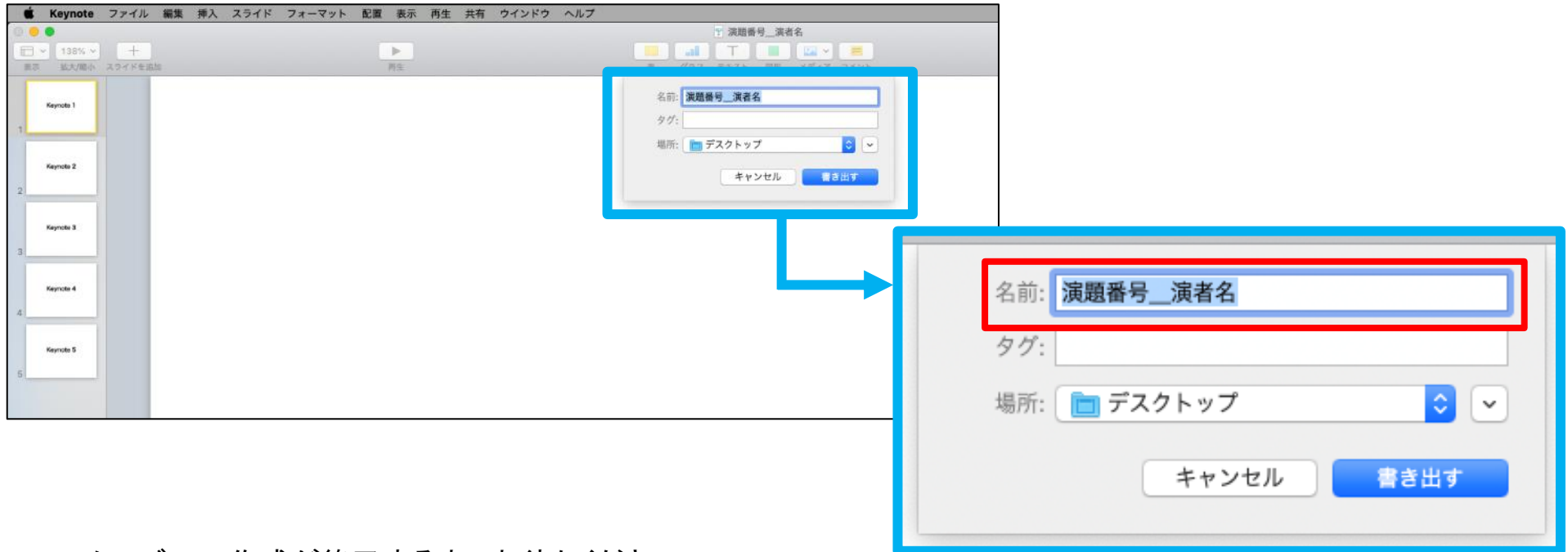
解像度: 4:3の場合【1024×768】

16:9(ワイドスクリーン)の場合【720P】

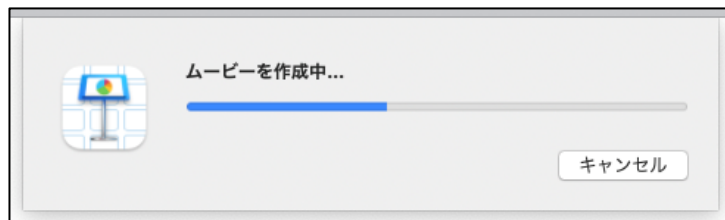
を選択し、【次へ】をクリックしてください。



7. ファイルを任意の場所書き出してください。ファイル名は、「**演題番号_演者名**」としてください。



8. ムービーの作成が終了するまでお待ちください。



完成した動画は音声や動画、スライドのタイミングに問題がないか必ずご確認ください。

完成ファイルは学術集会専用データアップロードサービスにてご提出ください。